

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) キャタピラージャパン株式会社 明石事業所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

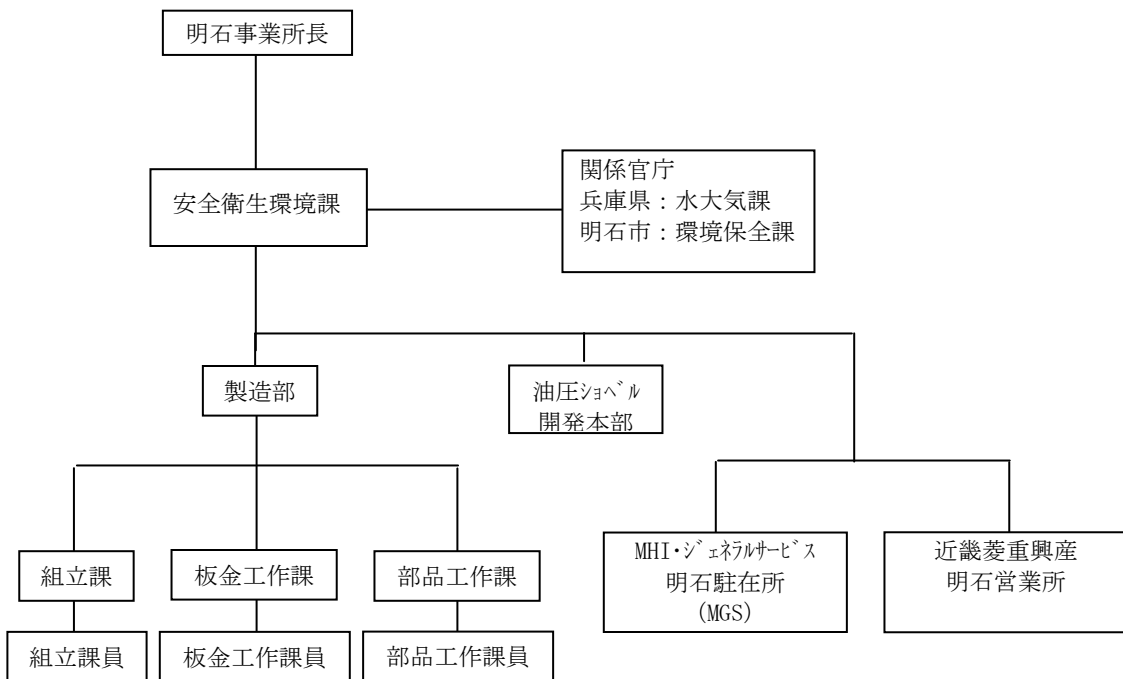
●環境方針

キャタピラージャパン(株)油圧ショベル開発本部及び明石事業所は、環境保全への取り組みを事業経営の最重要課題の一つとして位置付け、製品の開発と生産及びサービスに於いて自然環境との調和に努めると共に、環境保全活動を継続的且つ着実に推進して、企業の発展と環境保全の両立を図る。

1-2 環境保全活動に関する組織体制

環境管理組織図

【キャタピラージャパン(株) 明石事業所】



2 環境保全活動の実施状況等

項目		取組結果	今後の取組計画
エネルギー使用量の低減	●電力使用量を生産高原単位で前年度比1%低減	◆各部門毎の主要業務改善活動推進 ◆空調温度管理の徹底 ◆省エネ機器の導入 ◆電力使用量は生産高原単位で前年度比3.3%増 ※1	●電力使用量の生産高原単位での前年度比1%低減
省資源の推進	●コピー用紙使用量を前年度比1%低減	◆無駄なコピーの削減 ◆文書の電子ファイル化推進 ◆コピー用紙使用量が前年度比6.2%増 ※2	●コピー用紙使用量の前年度比1%低減
	●市水使用量を生産高原単位で前年度比1%低減	◆設備、手洗場、トイレ等の節水 ◆排水処理場希釈水量の見直し ◆漏水箇所等の修理 ◆市水使用量は生産高原単位で前年度比26.2%増 ※1	●市水使用量の生産高原単位での前年度比1%低減
廃棄物の減量・リサイクル	●全コピー用紙使用量の90%をリサイクル	◆紙類の分別徹底、焼却ゴミへの混入防止等 ◆コピー用紙のリサイクル率196%達成	●コピー用紙リサイクル率90%以上の維持・継続
	●廃プラスチック類廃棄量を生産高原単位で前年度比1%低減	◆梱包、クッション材の減少、再使用化 ◆クレームの撲滅 ◆軍手の洗浄再使用 ◆廃プラスチック類の廃棄量は生産高原単位で前年度比5.3%増加 ※1	●廃プラスチック類廃棄量の生産高原単位での前年度比1%低減
	●燃えるゴミ発生量を生産高原単位で前年度比1%低減	◆分別の徹底、発生の抑制、破損パレットの回収/修理/再活用 ◆燃えるゴミ発生量は生産高原単位で前年度比31.5%増 ※1	●燃えるゴミ発生量の生産高原単位での前年度比1%低減
環境負荷の低減	●グリーン調達の推進 ●エコドライブの推進	◆協力会社、取引先への環境マネジメントシステム取得推進 ◆エコドライブ推進資料の作成と従業員への周知	●エコドライブ推進の継続実施

※1 市場の落ち込みによる売上原価の大幅な減少の為。

※2 大量使用するチェックシート類の外部印刷業者の利用をやめ、自社でのコピー利用を開始した為。